

# 留 学 報 告 書

記入日:2013年9月27日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	ニューヨーク州立大学ニューパルツ校 State University of New York at New Paltz
留学期間	2012年8月～2013年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2013年6月11日
明治大学卒業予定年	2015年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月下旬 2学期:1月下旬～5月下旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬,2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約6000人
創立年	1961年

留学費用項目	現地通貨(USD)	円	備考
授業料	\$0	0円	協定校留学のため
宿舍費	\$6,500	650,000円	寮費
食費	\$3,530	353,000円	ミールプラン(寮生は強制)
図書費	\$600	60,000円	授業による
学用品費	\$100	10,000円	文房具は日本から持参すべき
教養娯楽費	\$500	50,000円	人による
被服費	\$1,000	100,000円	冬用の厚手のダウンジャケットを現地で購入
医療費	\$0	0円	
保険費	\$954	95,400円	渡航先大学で強制加入の医療保険
渡航旅費	\$4,500	450,000円	スターアライアンス世界一周(1年間有効)
雑費	\$2,000	100,000円	外食、旅行など
その他	\$1,200	120,000円	明治大学で強制加入の海外保険
その他	\$500	50,000円	ビザ取得、パスポート、証明写真、ワクチンなど
その他		円	
<b>合計</b>	<b>\$21,384</b>	<b>2,138,400円</b>	<b>USD 1=JPY 100</b>

## 渡航関連

渡航経路: NRT - NYC - MSY - ORD - BOS - PHL - FRA - TXL - NYO - IST - FRA - HND

渡航費用

チケットの種類 スターアライアンス世界一周

往路 \_\_\_\_\_

復路 \_\_\_\_\_

合計 約 450,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Trip Advisor や Hostel Word など、ネット環境があればどうにでもなる。

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2) 部屋の形態

 個室 OR  相部屋(同居人数 2)

3) 住居を探した方法:

願書提出時に手続き

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

友人(顔見知り)はできやすいが、抱き合わせのミールプランを含めた費用が高く、キッチンやトイレなど公共スペースも不潔・不便。体験するだけなら1セメスターで十分。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会が無かった 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生向けのオフィスがある。日本人学生も多い。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

キャンパス近く、深夜の路上で iPhone 強盗未遂。相手も学生風だったので、なだめて取り戻した。なお、こちらは泥酔していた。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

現地で AT&amp;T のプリペイド SIM を入手、事前に入手した海外版 iPhone で使用。通話のみのプランで \$25/月。学内では wifi を利用。寮の部屋は電波が弱いので、有線 LAN 対応機器を用意するとよい。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

最初に現金を持って行った以外、日本で作ったクレジットカードですべて賄った。キャッシング手数料は一回3ドル程度。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

文房具、化粧品、薬など、品質が求められるもの、洗濯ネット

## 進路について

1) 進路 <input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 18 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Elementary Spanish 2	スペイン語初級
科目設置学部・研究科	SPA
履修期間	1 セメスター
単位数	3
本学での単位認定状況	1(合算)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Angeles Donoso
授業内容	パワーポイントでの文法ポイント解説、スペイン語圏文化紹介、クラス内での会話練習など。
試験・課題など	4回程度
感想を自由記入	チリ人の先生。教科書が 100 ドル近くするのだが、オンライン教材(宿題)とセットになっており使い勝手は良い。文法的には点過去からスタートする。周りの生徒のレベルは決して高くないので、日本で 1 年以上勉強していれば十分ついていける内容。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Intro to Sociology		社会学入門
科目設置学部・研究科	SOC	
履修期間	1 セメスター	
単位数	3	
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Vincent A. Marasco	
授業内容	Sociology Major の 1 年生向け必修。20 人程度の少人数クラス。社会学の用語や基本概念を学びつつ、格差やジェンダーなどアメリカの社会問題を題材にディスカッションをする。	
試験・課題など	5回程度	
感想を自由記入	先生は他の生徒がゴチャゴチャと発言した内容をまとめて言い直してくれるため、リスニングが苦手な自分もついていけた。また、指定教科書の『You May Ask Yourself: An Introduction to Thinking Like a Sociologist』(Dalton Conley 著)がとても秀逸で、非ネイティブにも十分わかりやすく書かれていておすすめ。日本の Amazon でも購入できるようなので、機会があれば目を通してくと良い。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Media and Society		メディアと社会
科目設置学部・研究科		
履修期間	1 セメスター	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Thomas Cznarty	
授業内容	教科書を用いての講義。テレビ・ラジオ・新聞・インターネットなど各メディアの発展と歴史を概観できる。最近のニュースをテーマに、簡単なディスカッションをすることも。また映画を数本見ての分析レポートや、自分のメディア消費行動を題材に分析レポートが課せられた。	
試験・課題など	5回程度	
感想を自由記入	アメリカメディアの歴史と現状が概観でき、面白い。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
History of Rock		ロックの歴史
科目設置学部・研究科		
履修期間	1 セメスター	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回	
担当教授	David M. Savitsky	
授業内容	大教室での講義形式。ブルースなど黒人音楽のルーツから始まり、ロック史の代表的なアーティストを扱う。授業内で YouTube や音源を視聴する。	
試験・課題など	5回	
感想を自由記入	Music Department の授業であるが、キャッチーな内容からかさまざまな学生が登録している。英語がイマイチであっても音楽好きなら楽しめると思う。いわゆる楽単。	

履修した授業科目名(大学言語):		履修留学先した授業科目名(日本語):	
Composition I: ESL/SWW		英作文 I	
科目設置学部・研究科	ENG		
履修期間	1 セメスター		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+チューター(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Peggy Hach		
授業内容	Freshman 向けの必修授業で、アカデミックライティングの基本を教える。本講義は非ネイティブの International Student 向けにチューターとのセッションを義務付けたもの。したがって、ネイティブ向けのクラスに比べ内容は平易だが、時間の拘束が多い。		
試験・課題など	4 回のエッセイ(各 3~4 枚程度)、毎週のリーディングとリアクションペーパー		
感想を自由記入	先生はとても優しく、非ネイティブの発音も聞き取ってくれる。しかしながら、周りの生徒もネイティブではなく、自己のレベル向上という意味では不十分な点もあった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
History of jazz		ジャズの歴史	
科目設置学部・研究科	MUS		
履修期間	1 セメスター		
単位数	3		
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	John Menegon		
授業内容	アメリカのジャズの歴史を時代順に音源や映像を交えて学ぶ。		
試験・課題など	4 回程度。選択式の問題が大半なので平易。コンサートレポートを1つ提出。		
感想を自由記入	先生がミュージシャンなので、実演を聞く機会があつてよい。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Jazz Improvisation Workshop		ジャズアドリブワークショップ	
科目設置学部・研究科	MUS		
履修期間	1 セメスター		
単位数	2		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ワークショップ(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Mark Dziuba		
授業内容	ジャズの理論とアドリブ実践。		
試験・課題など	作曲課題が1つ、採譜課題が1つ		
感想を自由記入	先生がとてもユニークで、ミュージシャンにはたまらない。あらゆるメロディ楽器の学生が受講しているため、アドリブ演奏を聴く機会としても刺激的だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Chamber Jazz Ensembles		室内ジャズ合奏	
科目設置学部・研究科	MUS		
履修期間	1 セメスター		
単位数	1		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	合奏(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Teri Roiger		
授業内容	オーディション後にバンドを組んで合奏。セメスター末にコンサートを行う。		
試験・課題など	コンサートでの演奏		
感想を自由記入	友人を作る絶好の機会。ある程度演奏ができるならお勧め。		

## 留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
 (形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2012年 1月～3月	
4月～7月	パスポート取得 ビザ取得 留学先願書等手続
8月～9月	渡航 Fall Semester 開始
10月～12月	Thanksgiving Break Fall Semester 終了 Winter Break を利用して国内旅行
2013年 1月～3月	Spring Semester 開始 Easter Holiday を利用して国内旅行
4月～7月	Spring Semester 終了 メキシコ、ヨーロッパを経由して帰国